

町田市高齢者福祉計画 2019年度 進捗状況評価結果

<目次>

1 主な取組の進捗評価結果一覧	1
2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果	2
3 主な取組の進捗評価結果(詳細)	3
基本目標 1 地域参加と生きがいづくりの推進	3
基本目標2 住み慣れた地域での生活継続の推進	8
基本目標3 自分に合った施設や住まいの選択	16
基本目標4 安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	20

町田市高齢者福祉計画 2019年度進捗状況評価結果について

1 主な取組の進捗評価結果一覧

基本目標	基本施策	施策	事業名	進捗評価	
1	(1)	①生きがい・集う場づくりの支援	ア 老人クラブ育成事業	○	
			イ 高齢者スポーツ普及事業	○	
	(2)	①高齢者に対する健康づくり・介護予防	ウ ふれあい館(高齢者福祉センター)機能の検討	○	
			ア シルバー人材センター振興事業	○	
	(3)	①高齢者の地域参加の推進	ア 高齢者の健康づくり	△	
			イ 介護予防ケアマネジメント	○	
	2	(1)	①見守り支援ネットワークの地域の拡充	キ 短期集中型サービス	○
				ク 地域介護予防自主グループ支援	◎
		(2)	①徘徊高齢者捜索ネットワーク	ケ 町田を元気にするトレーニング(「町トレ」)	◎
				コ 介護予防の普及啓発	○
		(3)	①適切な生活支援サービスの実施	ア いきいきポイント制度	△
				イ 介護予防サポーター養成事業	◎
(4)		①身近な相談体制の強化	ウ 支え合い連絡会	○	
			エ 地域活動団体型サービス	◎	
(5)		①認知症高齢者支援	オ 市基準型サービス	△	
			ア 高齢者見守り支援ネットワーク事業	○	
(6)		②認知症高齢者の家族への支援	イ 事業者での見守り	◎	
			ウ あんしんキーホルダー事業	△	
(7)	③家族介護者の負担軽減となる支援	ア 徘徊高齢者捜索ネットワーク	○		
		イ 緊急通報システム	○		
(8)	④成年後見制度への支援	ア 災害時要配慮者支援体制	○		
		イ 福祉避難施設(二次避難施設)	○		
(9)	⑤高齢者の虐待防止事業	ア 食の自立支援サービス	○		
		イ 寝具洗濯乾燥消毒サービス	○		
(10)	⑥在宅生活継続の支援	ウ 高齢者のための暮らしのてびきの作成・配布	△		
		エ 長寿祝金の贈呈	○		
(11)	⑦特別養護老人ホームなどの施設整備の推進	オ 高齢者無料入浴券の配布	○		
		カ 高齢者調髪券の交付	○		
(12)	⑧医療と福祉の連携	キ シルバー調髪カート発行事業	○		
		ク 在宅高齢者紙おむつ支給事業	○		
3	(1)	②多様な住まいの普及	ア 高齢者支援センター運営事業	○	
			イ もの忘れ相談事業	○	
(2)	①地域に密着した介護保険サービス施設の整備推進	イ 認知症サポーター養成講座事業	○		
		ア 町田市認知症施策推進協議会の開催	○		
(3)	①特別養護老人ホームなどの施設整備の推進	イ 臨床心理士等による介護者等相談	○		
		ア 家族介護者教室	○		
4	(1)	①介護保険サービスの質の向上	イ 家族介護者交流会	○	
			ウ 徘徊高齢者家族支援サービス事業	○	
(2)	①介護人材の育成・確保の支援	ア 成年後見制度への支援	○		
		イ 市民後見人の活用	○		
(3)	①医療と福祉の連携	ア 高齢者虐待防止連絡協議会	○		
		イ 高齢者虐待防止の啓発	○		
3	(1)	②多様な住まいの普及	ア 高齢者住宅設備改修給付事業	△	
			イ 有料老人ホーム(介護付・介護専用)の普及	○	
(2)	①地域に密着した介護保険サービス施設の整備推進	ウ 養護老人ホーム	○		
		ア 地域密着型サービス整備	◎		
(3)	①特別養護老人ホームなどの施設整備の推進	イ 認知症高齢者グループホーム	○		
		ウ 軽費老人ホーム(ケアハウス含む)	○		
4	(1)	①介護保険サービスの質の向上	イ 認知症対応型デイサービス	○	
			ウ サービス付高齢者向け住宅	○	
(2)	①介護人材の育成・確保の支援	イ 特別養護老人ホーム	○		
		ウ 介護老人保健施設	○		
(3)	①医療と福祉の連携	ア 福祉サービス第三者評価受審助成等事業	○		
		イ 介護相談員派遣事業	◎		
4	(1)	①介護保険サービスの質の向上	ウ ケアマネジメントの充実	○	
			ア 介護人材開発事業	◎	
(2)	①介護人材の育成・確保の支援	ア 認知症電話相談	△		
		イ 認知症地域支援推進員の育成	○		

2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果

基本 目標	基本施策	進捗評価の構成割合		
		◎	○	△
1	地域参加と生きがいづくりの推進	26.7%	53.3%	20.0%
	(1) 高齢者の生きがい・集う場づくり【重点】	0.0%	100.0%	0.0%
	(2) 健康づくり・介護予防の推進【重点】	33.3%	50.0%	16.7%
	(3) 地域の担い手づくり	40.0%	20.0%	40.0%
2	住み慣れた地域での生活継続の推進	3.7%	88.9%	7.4%
	(1) 見守り支援ネットワークの推進【重点】	33.3%	33.3%	33.3%
	(2) 要配慮高齢者支援	0.0%	100.0%	0.0%
	(3) 生活支援サービスの実施	0.0%	87.5%	12.5%
	(4) 高齢者支援センターの機能の充実【重点】	0.0%	100.0%	0.0%
	(5) 認知症高齢者及び家族介護者支援【重点】	0.0%	100.0%	0.0%
	(6) 高齢者の権利擁護	0.0%	100.0%	0.0%
3	自分に合った施設や住まいの選択	0.0%	90.9%	9.1%
	(1) 高齢者の住まいの選択肢拡大	0.0%	83.3%	16.7%
	(2) 地域に密着した介護保険サービスの提供【重点】	0.0%	100.0%	0.0%
	(3) 介護保険施設の整備【重点】	0.0%	100.0%	0.0%
4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	33.3%	50.0%	16.7%
	(1) 介護保険サービスの質の向上	33.3%	66.7%	0.0%
	(2) 介護人材の育成・確保	100.0%	0.0%	0.0%
	(3) 保健・福祉・医療の連携	0.0%	50.0%	50.0%
5	介護保険事業の円滑な運営	介護保険事業計画において評価		
	(1) 介護保険施設の整備			
	(2) 地域支援事業の実施			
	(3) 介護給付・運営の適正化			
合計		11.9%	76.3%	11.9%

<凡例>

- ◎・・・計画以上に進んでいる
- ・・・計画どおり進んでいる
- △・・・計画どおり進んでいない

3 主な取組の進捗評価結果(詳細)

基本目標 1	地域参加と生きがいつくりの推進	
基本施策 (1)	高齢者の生きがい・集う場づくり【重点】	計画p.46~/修正p.9~

施策 ① 生きがい・集う場づくりの支援

事業名				ア. 老人クラブ育成事業
評価	指標	老人クラブ数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	122クラブ	
	2018年度		123クラブ	
	2019年度		120クラブ	
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・町田市老人クラブ連合会主催の各種事業支援を行いました。 ・町田市老人クラブ連合会と協働し、新任の会長や会計担当に向けた研修を行いました。 ・補助金実績報告の書式等を改正し、老人クラブにおける事務負担の軽減を図りました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・会員の高齢化が課題であり、新規加入促進のためのPRを図る必要があります。 ・クラブ運営の簡素化、単純化を図り、役員の運営負担の軽減を支援していきます。 		

事業名				イ. 高齢者スポーツ普及事業
評価	指標	大会等参加者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	1,639人	
	2018年度		1,653人	
	2019年度		1,360人	
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市主催大会を3回開催しました。(市主催大会以外に町田市ゲートボール協会主催大会は5回) ・ゲートボール初心者教室の周知を行い、参加者を募りました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートボール人口の高齢化が課題となっています。 ・市主催大会の開催と周知を継続して行います。 		

事業名				ウ. ふれあい館(高齢者福祉センター)機能の検討
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	管理運営体制の見直し	介護予防スペースへの改修(2館)	
	2018年度		長寿号運行ルートの見直し	
	2019年度		職員配置の見直し	
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・より効率的な管理運営体制とするため、職員配置の見直しについて検討、決定しました。 ・利用者アンケートを実施し、利用者満足度の把握を行いました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再編計画を鑑み、ふれあい館として必要な機能を整理する必要があります。 ・機能の整理に併せて、ふれあい館のあり方の検討を行います(2021年度)。 		

施策 ② 就労の機会を確保する取組

事業名				ア. シルバー人材センター振興事業
評価	指標	会員数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	2,764人	
	2018年度		2,804人	
	2019年度		2,866人	
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターが行う高齢者の就業機会の提供について、支援を行いました。 ・シルバー人材センターの広報活動として、町内会・自治会にパンフレットの回覧を依頼しました。 ・イベント等で就業の様子を周知し、会員増加につながるよう支援を行いました。 		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、高齢者の就業機会の提供、会員増加について、支援を行います。 ・自主財源を中心とした組織運営ができるように、支援を行います。 		

基本目標 1	地域参加と生きがいつくりの推進	
基本施策 (2)	健康づくり・介護予防の推進【重点】	計画p.48~/修正p.10~

施策 ① 高齢者に対する健康づくり・介護予防

事業名		ア. 高齢者の健康づくり	
評価	指標	①特定健康診査受診率 ②後期高齢者健康診査受診率 ③健康教育実施回数	
		目標値	実績値
	2017年度		①45.2% ②53.3% ③28回
	2018年度		①45.5% ②53.4% ③27回
	2019年度		①45.6% ②53.4% ③19回
2020年度	①60% ②60% ③継続		
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度の特定健康診査受診率は、受診勧奨をさらに強化したことにより、2018年度実績を0.1ポイント上回る45.6%となる見込みです。 ・2019年度の後期高齢者健康診査受診率は、引き続き健康診査の周知活動を実施したことにより、2018年度実績と同じく53.4%となる見込みです。 ・健康教育参加者に占める高齢者の割合は2019年度は41.1%で、2018年度の46.7%から△5.6%減となりました。 	
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、特定健康診査受診率・後期高齢者健康診査受診率の向上や、高齢者の健康づくりについての普及啓発に、担当課と連携しながら取り組みます。 ・高齢期を迎える前に予防医学的なアプローチをすることで健康づくり・介護予防に効果が出る病態があることから、若年層や現役世代の参加者数の増加を図ります。 	

事業名		カ. 介護予防ケアマネジメント	
評価	指標	介護予防ケアマネジメントに関する地域ケア個別会議実施	
		目標値	実績値
	2017年度		検討
	2018年度		モデル会議実施
	2019年度		市と高齢者支援センターで協働実施
2020年度	実施		
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市と市内12カ所の全ての高齢者支援センターが協働し、会議を計10回(23事例)実施しました。 ・取組みの推進に向け、アドバイザーを募集し、新しく8名のアドバイザーの養成を行いました。 ・次年度からの支援センター主催の会議実施に向け、新任アドバイザーと高齢者支援センターを対象に研修会を実施し、会議の目的や留意点の共有を図りました。 	
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・次年度は地域ケア会議の機能の発揮に向け、圏域ごとに支援センター主催で会議を実施します。 ・また、地域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが見学できる体制を整備し、取組みの推進を図ります。 	

事業名		キ. 短期集中型サービス	
評価	指標	目標達成率	
		目標値	実績値
	2017年度		73%
	2018年度		76%
	2019年度		77.60%
2020年度	75%		
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市内5圏域で5教室開催し、利用者51人中37名が3ヶ月間の運動トレーニングを通して、生活機能の維持・改善に向けた目標を達成しました。 ・当事業に携わるリハビリテーション専門職のスキルアップのための研修を実施し、サービスの質の向上を図りました。 	
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、リハビリテーション専門職と連携し、サービスの質の向上に向けた取組みを推進することで目標の達成率の向上(利用者の生活の質の向上)に繋がります。 	

事業名		ク. 地域介護予防自主グループ支援		
評価	指標	介護予防に資する活動団体数(累計)		
		目標値	実績値	
	2017年度		265団体	○
	2018年度		294団体	◎
	2019年度		306団体	◎
2020年度	268団体			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援センターにおいて、7教室(地域介護予防教室4教室、体操講座3教室)を開催し、教室終了時には9団体(地域介護予防教室4団体、体操講座5団体)の自主グループが立ち上がりました。 ・上記の新規立ち上げ団体に加え、既に活動をしている自主グループ3団体が介護予防に協力いただけるグループとして高齢者支援センターと関わりを持つことができ、計12団体の増加となりました。 		
課題および今後の方向性		・今後も引き続き、自主グループの立ち上げや活動継続を支援していきます。		

事業名		ケ. 町田を元気にするトレーニング(「町トレ」)		
評価	指標	「町トレ」のグループ数(累計)		
		目標値	実績値	
	2017年度		65団体	◎
	2018年度		119団体	◎
	2019年度		155団体	◎
2020年度	96団体			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・住民向けのプレゼンテーションの実施や健康づくり推進員研修等での周知活動を行い、グループの立ち上げを希望する住民団体に対して立ち上げ支援(スタート応援講座)を実施し、新しく36団体が立ち上がりました。 ・また、「町トレ」を実施している各団体へ継続支援を行いました。 		
課題および今後の方向性		・引き続き「町トレ」の周知に努め、希望する住民団体に対して立ち上げ支援及び継続支援を行います。		

事業名		コ. 介護予防の普及啓発		
評価	指標	-		
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	継続	○
	2018年度		継続	○
	2019年度		継続	○
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関する講演会を実施しました。(1回、302名参加) ・「総合健康づくりフェア」において、保健予防課と協働し、ブース出展を行い、フレイルの普及啓発を行いました。(1回、609名参加) ・介護予防月間地域型イベントを各高齢者支援センターで実施しました。(18回、延べ1113名参加) 		
課題および今後の方向性		・今後も、市民の方が介護予防への関心や意識を高め、ご自身や地域の健康づくりに楽しみながら取り組んでいただけるように、各種イベントでのPRや広報媒体等を活用した情報発信を推進します。		

基本目標 1	地域参加と生きがいつくりの推進	
基本施策(3)	地域の担い手づくり	計画p.52~/修正p.13~

施策 ① 高齢者の地域参加の推進

事業名				ア. いきいきポイント制度	
評価	指標	①登録者数 ②活動場所数		進捗	評価
		目標値	実績値		
	2017年度		①1,937人 ②234箇所	○	
	2018年度		①2,080人 ②243箇所	△	
	2019年度		①2,169人 ②245箇所	△	
	2020年度	①2,300人 ②252ヶ所			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・新規登録研修会を年間で15回実施し、新たに194名が登録しました。新規登録施設は15施設となり、活動拠点が増えました。 ・スキルアップを目的とした登録者向けの研修会を1回実施しました。 			
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・制度の周知等を実施し、引き続き、高齢者のさらなる地域貢献活動・社会参加を推進します。 			
事業名				イ. 介護予防サポーター養成事業	
評価	指標	介護予防サポーター養成講座の修了者数(累計)		進捗	評価
		目標値	実績値		
	2017年度		918人	○	
	2018年度		982人	◎	
	2019年度		1054人	◎	
	2020年度	1,015人			
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サポーター養成講座を4期開催し、新たに72名の方が修了しました。 			
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き養成講座を開催し、地域で介護予防の普及啓発ができる人材を養成します。 			
事業名				ウ. 支え合い連絡会	
評価	指標	-		進捗	評価
		目標値	実績値		
	2017年度	継続	継続	○	
	2018年度		継続	○	
	2019年度		継続	○	
	2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・市全域での「町田市支え合い連絡会」を3回、「町田市支えあい連絡会移動支援分会」を3回実施し、地域課題について検討しました。 ・12高齢者支援センターで、地域課題の把握や解決を目的とした「支え合い連絡会」を109回実施しました。 			
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援については、市内の事業所やボランティア等と協力して取り組みをすすめていきます。 ・12高齢者支援センターで把握された地域課題のうち、地域で解決可能な課題について、取り組みを進めます。 			

事業名		エ. 地域活動団体型サービス		
評価	指標	地域活動団体型サービス実施団体数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2017年度		39団体	○
	2018年度		71団体	◎
	2019年度		77団体	◎
	2020年度	54団体		
2019年度の具体的な取組・成果		・地域生活支援コーディネーターの声かけや広報での周知により、ボランティア、NPO、地域住民などが運営する「地域活動団体型サービス」に77団体(登録のみ24団体、補助金申請53団体)が登録に至りました。		
課題および今後の方向性		・生活支援コーディネーターの取り組みを中心に、「まちだ互近助クラブ(2019年度まで地域活動団体型サービス)」実施団体の発掘や、育成を行います。		

事業名		オ. 市基準型サービス		
評価	指標	まちいきヘルパーの養成人数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2017年度	拡充	65人	○
	2018年度		19人	△
	2019年度		28人	△
	2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		・生活援助に特化した「まちいきヘルパー」の養成研修を1回実施しました。研修最終日には就労に向けた取組みとして、訪問介護事業者の就職説明会を行いました。 ・養成研修受講申込者の拡大に向け、チラシ配布先の拡大や、小田急線町田駅にポスター掲示を行うなど、周知方法を工夫しました。		
課題および今後の方向性		・より多くの「まちいきヘルパー」養成に向け、引き続き、周知方法等検討していきます。		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策(1)	見守り支援ネットワークの推進【重点】	計画p.54~/修正p.15~

施策 ① 見守り支援ネットワークの地域の拡充

事業名				ア. 高齢者見守り支援ネットワーク事業				
評価	指標		高齢者見守り支援ネットワーク実施の町内会・自治会数(累計)			進捗	評価	
			目標値		実績値			
	2017年度				52箇所			◎
	2018年度				56箇所			○
	2019年度		↓		57箇所			○
2020年度		58箇所						
2019年度の具体的な取組・成果				<ul style="list-style-type: none"> ・新たに町内会・自治会で見守り支援ネットワークを1つ構築し、累計として57町内会・自治会で見守り支援ネットワークが実施されています。 ・市民に見守りの普及啓発を図るため、高齢者見守り活動普及啓発講座を27回実施しました。また、見守り活動を実施している市民に対し、市主催の研修会を開催しました。 				
課題および今後の方向性				<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、見守り活動を実施している町内会自治会への支援を行うとともに、地域で様々な取組を行っている自主グループにも普及啓発を行い、地域での見守りの目を広げていきます。 				
事業名				イ. 事業者での見守り				
評価	指標		見守り事業者数(累計)			進捗	評価	
			目標値		実績値			
	2017年度		拡充		524事業者			◎
	2018年度				581事業者			◎
	2019年度		↓		590事業者			◎
2020年度								
2019年度の具体的な取組・成果				<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる見守り体制の強化を図るため、新たに認知症カフェを行っている飲食店や小売事業者と協定を締結したことにより、協定事業所数は9事業所増えて合計590事業所となりました。 				
課題および今後の方向性				<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、引き続き見守りに協力する事業者の拡充を図ります。 				
事業名				ウ. あんしんキーホルダー事業				
評価	指標		あんしんキーホルダー新規登録数			進捗	評価	
			目標値		実績値			
	2017年度				2,400個			○
	2018年度				2,383個			△
	2019年度		↓		1,696個			△
2020年度		2,800個						
2019年度の具体的な取組・成果				<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会への働きかけや地域のイベントに出向いて登録会を行うなど普及啓発をし、1,696名の登録がありました。 ・総登録者数は、21,163名です。 				
課題および今後の方向性				<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、普及啓発を行い、登録者数の拡大を図ります。 				

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策 (2)	要配慮高齢者支援	計画p.56~/修正p.17~/

施策 ① 徘徊高齢者捜索ネットワーク

事業名				ア. 行方不明徘徊高齢者捜索ネットワーク
評価	指標	捜索協力機関数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	52事業所	○
	2018年度		58事業所	○
	2019年度		58事業所	○
2019年度の具体的な取組・成果		捜索協力機関と連携し、高齢者が行方不明になった際に対応しました。		
課題および今後の方向性		引き続き、捜索協力機関と連携を図っていきます。		

事業名				イ. 緊急通報システム
評価	指標	利用者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	394人	○
	2018年度		451人	○
	2019年度		439人	○
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> 慢性疾患等がある高齢者宅に、緊急時に対応できる通報機器を設置しました。 消防庁方式の機器製造終了に伴い、民間方式への切り替えが完了しました。 2020年度より事業名称が「救急通報システム」になることから、制度の見直しを行いました。 		
課題および今後の方向性		事業の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		

施策 ② 災害時要配慮者支援

事業名				ア. 災害時要配慮者支援体制
評価	指標	-		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	拡充	拡充	○
	2018年度		拡充	○
	2019年度		拡充	○
2019年度の具体的な取組・成果		市内介護保険事業所等との災害時の連携強化に向け、災害時情報伝達訓練を実施し、マニュアルの検証を行いました。また、市内介護保険事業所を対象にBCP(事業継続計画)・避難確保計画の策定支援セミナーを開催しました。		
課題および今後の方向性		2019年度に検証した災害時情報伝達マニュアルについて、検証結果を踏まえ見直しを行う必要があります。		

事業名				イ. 福祉避難施設(二次避難施設)
評価	指標	協定締結施設数(累計)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	拡充	30施設	○
	2018年度		30施設	○
	2019年度		29施設	○
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> 新たに特別養護老人ホーム1施設と締結を締結し、協定締結施設数が29施設となりました。 ※前年度に比べ協定締結数が減少しているのは、二次避難施設の開設・運営に係る協定書の協定締結単位を見直し、「同一法人が同一住所内で運営する事業所ごと」に統一して再締結したためです。 二次避難施設の円滑な開設・運営に向け、二次避難施設開設訓練を実施し、発災から開設までの市と二次避難施設協定施設との連携について確認しました。 		
課題および今後の方向性		二次避難施設に関して、依然として要配慮者の受け入れ先は不足しており、引き続き二次避難施設協定施設拡大に向け取り組んでいく必要があります。		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策 (3)	生活支援サービスの実施	計画p.58~/修正p.18~

施策 ① 適切な生活支援サービスの実施

事業名				ア. 食の自立支援サービス			
評価	指標	利用者数(実人数)				進捗評価	
		目標値	実績値				
	2017年度	実施	603人				○
	2018年度		589人				○
	2019年度		612人				○
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への食事の配達と安否確認を行いました。 ・申請書や承認通知書等の様式の見直し作業を行いました。(2020年4月より新様式) 					
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認を主目的とする事業であることから、制度趣旨の周知に努めます。 ・利用者が増加していることから、事業の継続性の確保が課題です。 					
事業名				イ. 寝具洗濯乾燥消毒サービス			
評価	指標	利用者数(実人数)				進捗評価	
		目標値	実績値				
	2017年度	実施	50人				○
	2018年度		49人				○
	2019年度		46人				○
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・寝具の乾燥消毒(年6回)、丸洗い(年1回)を実施しました。 					
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。 					
事業名				ウ. 高齢者のための暮らしのてびきの作成・配布			
評価	指標	印刷冊数				進捗評価	
		目標値	実績値				
	2017年度	実施	500冊				○
	2018年度		20,500冊				○
	2019年度		0冊				△
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度に印刷した冊子を、引き続き行政窓口や高齢者支援センター等で配布したほか、成年後見人養成研修等で制度や事業の説明の際に本書を活用しました。 ・2018年度の発行以降、制度や事業に改定があったものについて、新旧対照表を作成しました。 					
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・次回刊行である2021年度に向けて、情報の整理及び収集を継続的にを行います。 ・高齢者向けのイベントでも配布し、より多くの方に情報が行きわたるよう工夫をしていきます。 					
事業名				エ. 長寿祝金の贈呈			
評価	指標	贈呈人数				進捗評価	
		目標値	実績値				
	2017年度	実施	63人				○
	2018年度		64人				○
	2019年度		75人				○
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・100歳の対象者に祝金1万円を贈呈しました。また、88歳及び99歳の方へ祝詞を送付しました。 ・市内最高齢の女性(108歳)と男性(105歳)に市長が記念品と花束を贈呈し、広報に掲載しました。 					
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も祝金の贈呈と最高齢の方への記念品贈呈を実施していきます。 ・88歳及び99歳に贈呈した祝詞については、デザイン等の工夫を今後もしていきます。 					

事業名		才. 高齢者無料入浴券の配布		
評価	指標	交付人数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	実施	81人	○
	2018年度		68人	○
	2019年度		60人	○
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		・申請のあった方に入浴券を交付しました。		
課題および今後の方向性		・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		

事業名		カ. 高齢者調髪券の交付		
評価	指標	交付人数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	実施	6,797人	○
	2018年度		7,310人	○
	2019年度		7,106人	○
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		・該当者に調髪券を交付しました。 ・一部券種の対象者要件の見直しを行いました。		
課題および今後の方向性		・利用者が増加していることから、事業の継続性の確保が課題です。		

事業名		キ. シルバー調髪カード発行事業		
評価	指標	発行人数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	実施	103人	○
	2018年度		116人	○
	2019年度		115人	○
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		・高齢者調髪協力店ならびに高齢者福祉課窓口にて申請のあった方にシルバー調髪カードを発行しました。		
課題および今後の方向性		・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		

事業名		ク. 在宅高齢者紙おむつ支給事業		
評価	指標	支給人数(延べ)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	実施	919人	○
	2018年度		910人	○
	2019年度		984人	○
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果		・新規利用申請者及び継続利用者に対して、年4回、紙おむつ及びパットを支給しました。 ・申請書様式の見直しを行いました。(2019年6月より新様式)		
課題および今後の方向性		・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策(4)	高齢者支援センターの機能の充実【重点】	計画p.59~/修正p.20~

施策 ① 身近な相談体制の強化

事業名		ア. 高齢者支援センター運営事業	
評価	指標	①地域ケア会議運営ガイドライン作成・実施 ②設置箇所数	
		目標値	実績値
	2017年度		①作成 ②12箇所
	2018年度		①実施 ②12箇所
	2019年度		①見直し ②12箇所
	2020年度	①実施 ②検討	
2019年度の具体的な取組・成果	地域ケア会議運営ガイドラインに沿って、地域ケア推進会議を開催し、地域の課題抽出・検討を行いました。		
課題および今後の方向性	引き続き、地域ケア会議運営ガイドラインに沿って、より効果的な地域ケア推進会議の開催をすすめます。また、在宅医療・介護連携に関する地域ケア推進会議については、2020年4月に開設した医療と介護の連携支援センターが開催支援を行います。		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策 (5)	認知症高齢者及び家族介護者支援【重点】	計画p.63~/修正p.21~

施策 ① 認知症高齢者支援

事業名		ア. もの忘れ相談事業	
評価	指標	実施件数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		223件
	2018年度		209件
	2019年度		210件
2020年度	144件		
2019年度の具体的な取組・成果	高齢者支援センターで実施する医師によるもの忘れ相談は210件でした。		
課題および今後の方向性	引き続き、物忘れ相談事業を実施し、認知症の方やその介護者に対する早期支援を行います。		

事業名		イ. 認知症サポーター養成講座事業	
評価	指標	認知症サポーターの人数(累計)	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		23,421人
	2018年度		27,443人
	2019年度		30,955人
2020年度	31,600人		
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座を97回開催し、計3,512人が受講しました。 ・認知症サポーター養成講座の受講者が、認知症についての理解をさらに深めるための認知症サポーターステップアップ講座を2回実施し、42人が受講しました。 		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症についての普及啓発を進めていきます。		

施策 ② 認知症高齢者の家族への支援

事業名		ア. 町田市認知症施策推進協議会の開催	
評価	指標	-	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	継続
	2018年度		継続
	2019年度		継続
2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果	町田市認知症施策推進協議会を年1回開催し、認知症の人やその家族の視点を重視した取組の推進や、認知症早期対応・受診の支援の充実について協議しました。		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症施策推進協議会を開催し、町田市の認知症施策の検討を行います。		

事業名		イ. 臨床心理士等による介護者等相談	
評価	指標	実施件数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		184件
	2018年度		189件
	2019年度		176件
2020年度	144件		
2019年度の具体的な取組・成果	高齢者支援センターで実施する臨床心理士による相談は176件でした。		
課題および今後の方向性	引き続き、臨床心理士等による介護者等相談を実施し、認知症の方やその介護者に対する早期支援を行います。		

施策 ③ 家族介護者の負担軽減となる支援

事業名		ア. 家族介護者教室	
評価	指標	実施回数	
		目標値	実績値
	2017年度		25回
	2018年度		24回
	2019年度	↓	23回
	2020年度	24回	
2019年度の具体的な取組・成果		・家族介護者教室を23回開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大リスクを考慮し、3月に予定していた1回を中止いたしました。	
課題および今後の方向性		・引き続き、各高齢者支援センターで家族介護者教室を開催します。	

事業名		イ. 家族介護者交流会	
評価	指標	実施回数	
		目標値	実績値
	2017年度		105回
	2018年度		99回
	2019年度	↓	116回
	2020年度	72回	
2019年度の具体的な取組・成果		・家族介護者交流会を116回開催しました。	
課題および今後の方向性		・引き続き、各高齢者支援センターで家族介護者交流を開催します。	

事業名		ウ. 行方不明徘徊高齢者家族支援サービス事業	
評価	指標	行方不明徘徊高齢者家族支援サービス利用者数 ※事業名の変更に伴い指標名称を更新しました。	
		目標値	実績値
	2017年度		60人
	2018年度		83人
	2019年度	↓	87人
	2020年度	85人	
2019年度の具体的な取組・成果		・ホームページ等で事業の周知をするとともに、行方不明となった高齢者の家族に対して事業案内を行い、利用促進を図りました。	
課題および今後の方向性		・引き続き、行方不明者高齢者家族支援サービス事業の周知を行い、利用促進を図っていきます	

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策(6)	高齢者の権利擁護	計画p.67~/修正p.23~

施策 ① 成年後見制度への支援

事業名		ア. 成年後見制度への支援	
評価	指標	高齢者支援センターへの相談件数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	238件
	2018年度		294件
	2019年度		316件
2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		・権利擁護に関するパンフレットを市内の介護事業者等に配布して、権利擁護に関する普及啓発を図りました。	
課題および今後の方向性		・引き続き、権利擁護に関するパンフレットを活用して普及啓発を行います。	

事業名		イ. 市民後見人の活用	
評価	指標	登録人数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	37人
	2018年度		51人
	2019年度		57人
2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		・市民後見人育成研修の修了生6人が最終面接後に市民後見人として登録され、累計登録人数は57人となりました。 ・2019年度から第4期市民後見人育成研修を開始しました。 ・成年後見サポーター制度を新設し、42人の新規登録がありました。	
課題および今後の方向性		・市民後見人の登録者数増加に伴い、適切な受任調整、後見監督およびフォローアップの体制が求められます。 ・厚生労働省通知の国基本計画に係るKPI(成果指標)を踏まえて、(仮称)権利擁護支援検討委員会を立ち上げ、専門職からの助言をいただきながら、受任調整、後見監督およびフォローアップを行います。	

施策 ② 高齢者の虐待防止事業

事業名		ア. 高齢者虐待防止連絡協議会	
評価	指標	協議会の回数	
		目標値	実績値
	2017年度		2回
	2018年度		2回
	2019年度		2回
2020年度		2回	
2019年度の具体的な取組・成果		・情報共有、事例協議を目的として、障がい福祉課と共同で、高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会を開催しました。	
課題および今後の方向性		・引き続き、協議会を開催し、障がい者・高齢者への権利擁護について各機関との連携を図っていきます。	

事業名		イ. 高齢者虐待防止の啓発	
評価	指標	研修会やパンフレット配布	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	実施
	2018年度		実施
	2019年度		実施
2020年度			
2019年度の具体的な取組・成果		・権利擁護に関するパンフレットを市内の介護事業者等に配布して、権利擁護に関する普及啓発を図りました。	
課題および今後の方向性		・施設や団体に対し、早期の気づきによる虐待防止を目的として、啓発を行います。	

基本目標 3	自分に合った施設や住まいの選択	
基本施策 (1)	高齢者の住まいの選択肢拡大	計画p.70~/修正p.24~

施策 ① 在宅生活継続の支援

事業名				ア. 高齢者住宅設備改修給付事業			
評価	指標	利用件数					進捗評価
		目標値		実績値			
	2017年度	継続		86件		○	
	2018年度			83件		△	
	2019年度			74件		△	
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		・高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、改修費用の一部を74名に対して給付しました。					
課題および今後の方向性		・今後も高齢者の在宅生活の継続のため、住宅改修研修会等を通じて、ケアマネジャー・高齢者支援センター、施工業者に事業の周知を行い、適切な制度利用を推進します。					

施策 ② 多様な住まいの普及

事業名				ア. 高齢者住宅の普及(住宅型有料老人ホーム)			
評価	指標	①施設数 ②定員数					進捗評価
		目標値		実績値			
	2017年度	継続		①10施設 ②365人		○	
	2018年度			①10施設 ②376人		○	
	2019年度			①10施設 ②394人		○	
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		・移転に伴い規模を拡大した施設が1施設あったため、定員数が18人増加し、合計394人となりました。					
課題および今後の方向性		・利用状況や市内における整備率の推移を注視します。					

事業名				ア. 高齢者住宅の普及(軽費老人ホーム) ※ケアハウス含む			
評価	指標	①施設数 ②定員数					進捗評価
		目標値		実績値			
	2017年度	継続		①2施設 ②70人		○	
	2018年度			①2施設 ②70人		○	
	2019年度			①2施設 ②70人		○	
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		・整備計画がないため、実績はありませんでした。					
課題および今後の方向性		・特になし。					

事業名				ア. 高齢者住宅の普及(サービス付高齢者向け住宅)			
評価	指標	①棟数 ②戸数					進捗評価
		目標値		実績値			
	2017年度	継続		①18棟 ②758戸		○	
	2018年度			①18棟 ②758戸		○	
	2019年度			①19棟 ②814戸		○	
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		・鶴川圏域に新たに1施設(56戸)開設し、合計814戸となりました。					
課題および今後の方向性		・市内における整備率の推移を注視します。					

事業名		イ. 有料老人ホーム(介護付・介護専用)の普及		
評価	指標	①施設数 ②定員数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	①37施設 ②3,261人	○
	2018年度		①38施設 ②3,317人	○
	2019年度		①38施設 ②3,317人	○
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果	・整備計画がないため、実績はありませんでした。			
課題および今後の方向性	・利用状況や市内における整備率の推移、及び東京都高齢者福祉計画に基づき東京都が示す整備可能定員数を注視します。			

事業名		ウ. 養護老人ホーム		
評価	指標	①施設数 ②定員数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	①1施設 ②50人	○
	2018年度		①1施設 ②50人	○
	2019年度		①1施設 ②50人	○
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果	・環境上・経済上の理由により居宅での生活が困難な高齢者を措置による施設入所を行い、支援しました。			
課題および今後の方向性	・在宅で生活上の課題を抱えている高齢者の入所相談について、それぞれの人に合った施設の情報を提供していくように努めます。			

基本目標 3	自分に合った施設や住まいの選択	
基本施策(2)	地域に密着した介護保険サービスの提供【重点】	計画p.73~/修正p.26~

施策 ① 地域に密着した介護保険サービス施設の整備推進

事業名				ア. 地域密着型サービス整備(認知症高齢者グループホーム)			
評価	指標	①施設数 ②定員数				進捗評価	
		目標値		実績値			
	2017年度	拡充		①23施設 ②378人		○	
	2018年度			①23施設 ②378人		○	
	2019年度			①24施設 ②396人		○	
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・整備予定とした3施設のうち、1施設の整備が完了しました。 ・未整備の2施設については、1施設が整備中であり、残り1施設は整備運営事業者を選定しました。 					
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・選定した施設に対しては、引き続き、整備に向けた支援を行います。 					

事業名				ア. 地域密着型サービス整備(認知症対応型デイサービス)			
評価	指標	①施設数 ②定員数				進捗評価	
		目標値		実績値			
	2017年度	継続		①23施設 ②389人		△	
	2018年度			①23施設 ②389人		○	
	2019年度			①23施設 ②389人		○	
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・現施設の稼働率等を考慮し、整備は行わないこととしているため、実績はありませんでした。 					
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・今後の整備については、高齢化率や稼働率の推移を注視しながら、慎重に検討する必要があります。 					

事業名				ア. 地域密着型サービス整備((看護)小規模多機能型居宅介護)			
評価	指標	①施設数 ②定員数				進捗評価	
		目標値		実績値			
	2017年度	拡充		①6施設 ②151人		△	
	2018年度			①6施設 ②151人		○	
	2019年度			①7施設 ②176人		○	
2020年度							
2019年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> ・整備予定とした4施設のうち、1施設の整備が完了しました。 ・未整備の3施設については、1施設が整備中であり、残り2施設は整備運営事業者の再公募を行いました。 ・再公募に際し、先着順とすることにより、随時募集で対応できるよう公募方法を見直しました。 					
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・選定した施設に対しては、引き続き、整備に向けた支援を行います。 ・公募中の施設については、随時、事業者からの相談に応じます。 					

基本目標 3	自分に合った施設や住まいの選択	
基本施策(3)	介護保険施設の整備【重点】	計画p.76~/修正p.28~

施策 ① 特別養護老人ホームなどの施設整備の推進

事業名		ア. 広域型介護保険施設整備(特別養護老人ホーム)	
評価	指標	①施設数 ②定員数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①22施設 ②2,059人
	2018年度		①23施設 ②2,149人
	2019年度		①23施設 ②2,149人
	2020年度		
2019年度の具体的な取組・成果		<p>・整備計画がないため、実績はありませんでした。 なお、施設の老朽化に伴い、移転改築を計画した事業者対応を2018年度から行い、2019年度下半期から工事が着工しました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・サービス量と待機者の動向や実態等を勘案し、今後の整備のあり方を検討します。</p>	

事業名		ア. 広域型介護保険施設整備(介護老人保健施設)	
評価	指標	①施設数 ②定員数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	①6施設 ②720人
	2018年度		①6施設 ②720人
	2019年度		①6施設 ②720人
	2020年度		
2019年度の具体的な取組・成果		<p>・整備予定とした1施設について、施設整備を行う事業者を公募しましたが、応募はありませんでした。なお、事業者から公募に関する相談があり、対応しましたが、事業者側の条件が整わず、応募には至りませんでした。 ・再公募に際し、先着順とすることにより、随時募集で対応できるよう公募方法を見直しました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・公募結果を踏まえ、介護老人保健施設整備の必要性について、検討を行います。</p>	

基本目標 4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	
基本施策(1)	介護保険サービスの質の向上	計画p.79~/修正p.29~

施策 ① 介護保険サービスの質の向上

事業名 ア. 福祉サービス第三者評価受審助成等事業				
評価	指標	普及啓発		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度		実施	○
	2018年度		実施	○
	2019年度		実施	○
2020年度	事業者及び市民を対象にした普及啓発			
2019年度の具体的な取組・成果	・市内事業所向けに福祉サービス第三者評価の受審を勧奨する通知を送付しました。			
課題および今後の方向性	・引き続き、事業者・市民に向けた普及啓発を実施します。			
事業名 イ. 介護相談員派遣事業				
評価	指標	訪問施設数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	35施設	○
	2018年度		35施設	○
	2019年度		48施設	◎
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果	2019年度から事務局業務を外部委託することで、業務量を削減することができました。それにより新しい取り組みとして、有料老人ホームへの介護相談員の派遣を順次開始することができました。			
課題および今後の方向性	引き続き事業を継続し、市内の施設サービスの質の向上を目指していきます。			
事業名 ウ. ケアマネジメントの充実				
評価	指標	実施事業所数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	60事業所	69事業所	◎
	2018年度		73事業所	◎
	2019年度		62事業所	○
2020年度				
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市で10事業所、高齢者支援センターで52事業所に対して、ケアマネジメント勉強会を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、勉強会を中止したことにより、前年度と比べて実施事業所数が減少しました。 ・各圏域で年度当初に、勉強会で活用するリ・アセスメント支援シート作成の研修会を実施し、リ・アセスメント支援シートの記載方法や活用方法を再確認を行いました。 			
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型ケアマネジメントを支援するために、今後も勉強会を継続します。 ・主に、新たに開設された居宅介護支援事業所を市での勉強会の対象としていましたが、2020年度から、区分支給限度基準額に近いケアプランを多く作成している事業所を抽出し、新たに開設された居宅介護支援事業所と併せて、市での勉強会の参加対象にします。 ・一定回数以上の訪問介護(生活援助中心型)を位置付けたケアプランを作成した事業所に、勉強会の参加を促します。 			

基本目標 4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	
基本施策(2)	介護人材の育成・確保	計画p.80~/修正p.30~

施策 ① 介護人材の育成・確保の支援

事業名		ア. 介護人材開発事業	
評価	指標	研修参加人数	
		目標値	実績値
	2017年度	拡充	1,659人
	2018年度		2,381人
	2019年度		2,090人
	2020年度		
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職面接会、市民向け講習会、介護従事者向け各種研修等を開催しました。 ・事業所のニーズに沿った研修を実施することで、大幅に参加人数が増加しました。 		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の現場は慢性的な人手不足が続いており、研修や面接会について、介護保険事業所のニーズに応じた内容のさらなる充実が必要です。 		

基本目標 4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	
基本施策(3)	保健・福祉・医療の連携	計画p.81~/修正p.31~

施策 ① 医療と福祉の連携

事業名		ア. 認知症電話相談	
評価	指標	電話相談件数	
		目標値	実績値
	2017年度		238件
	2018年度		165件
	2019年度		232件
	2020年度	350件	
進捗評価			○ △ △
2019年度の具体的な取組・成果	認知症の専門相談窓口における電話相談は232件でした。		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症の方やその介護者に対する電話相談を行います。		
事業名		イ. 認知症地域支援推進員の育成	
評価	指標	認知症地域支援推進員数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	51人
	2018年度		45人
	2019年度		40人
	2020年度		
進捗評価			○ ○ ○
2019年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援センターを中心に40名の認知症地域支援推進員を配置しました。 ・認知症施策に関する情報交換や認知症の人やその家族の居場所づくりに関連した事業の検討を行うことを目的とした認知症地域支援推進員連絡会を実施しました。 ・認知症地域支援推進員を含む高齢者支援センターの能力向上を目的に、「認知症と高齢者の精神疾患」をテーマとした認知症ライフサポート研修を実施しました。 		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症地域支援推進員連絡会や研修を行い、認知症地域支援推進員の能力向上を図ります。		